

第 57 回東北高等学校フェンシング選手権大会要項

- 主 催 東北高等学校体育連盟 山形県 山形県教育委員会
東北フェンシング連盟
- 共 催 米沢市 米沢市教育委員会
- 後 援 (公財) 山形県体育協会 米沢市体育協会
- 主 管 東北高等学校体育連盟フェンシング専門部
山形県高等学校体育連盟 山形県フェンシング協会
- 1 日 程 令和元年 6 月 21 日 (金) ～24 日 (月)
- (1) 開会式 6 月 21 日 (金) 16:00
 - (2) 競 技 個人対抗フルーレ 6 月 22 日 (土)
 - 個人対抗エペ・サーブル 6 月 22 日 (土) ～23 日 (日)
 - 学校対抗 6 月 23 日 (日) ～24 日 (月)
 - (3) 閉会式 6 月 24 日 (月) 12:00
- 2 会 場 米沢市営体育館 〒992-0012
山形米沢市金池3-16-2
TEL/FAX: 0238-23-0664
- 3 競技種目 (1) 個人対抗戦 男子フルーレ・女子フルーレ
男子エペ・女子エペ
男子サーブル・女子サーブル
- (2) 学校対抗戦 男女共にフルーレ種目による
- 4 競技規則 日本フェンシング協会規則を準用する
- 5 競技方法 (1) 学校対抗戦はトーナメント方式とする
(2) 個人対抗戦はプール戦とトーナメントの混合方式とする
- 6 参加資格 (1) 選手は、学校教育法第 1 条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
(2) 各県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、大会参加の資格を得たもの。
(3) 年齢は、平成 12 年(2000 年) 4 月 2 日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技 3 回までとし、同一学年での出場は 1 回限りとする。
(4) (財)全国高等学校体育連盟フェンシング部に平成 31 年度加盟の高等学校及び個人
(5) チーム編成において全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
(6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

- (7) 転校後6ヶ月未満の者の参加は認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし、一家転住などやむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (8) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
- (9) 参加資格の特例
 ア) 上記(1)(2)に定める生徒以外で(3)～(7)の大会参加資格を満たし、かつ、各県高等学校体育連盟が推薦する生徒を、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 イ) 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。
- (10) 参加資格の別途に定める規定については、「全国高校総体参加資格の別途に定める規定」に準ずる。

7 参加制限

- (1) 学校対抗 各県男女2チーム(開催県1チーム追加)
- (2) 個人対抗 フルレー各県男女4名ずつ
 エペ各県男女3名ずつ
 サーブル各県男女3名ずつ
- (3) 個人対抗戦の参加について
 1人2種目以内とする。ただし、エペ・サーブルの2種目に参加することはできない。
- (4) 外国人留学生の参加について
 学校対抗 規定人員のうち1名までエントリーを可とする。
 個人対抗 種目によらず、1校男女1名までエントリーを可とする。

8 参加申込

- (1) 所定の用紙に入力の上、参加料を添えて申し込むこと。
 1) 入力したデータを、下記メールアドレスへ送信すること。
 2) 押印済み原本を、下記の住所へ郵便またはFAXで送ること。
 (FAXで申込みの場合は、11(4)の監督会議終了時まで、後日押印済み原本を提出すること。)

〒992-0052 山形県米沢市丸の内2-5-63

山形県立米沢東高等学校内 小原 秀樹 宛

Mail: soharah@pref-yamagata.ed.jp

TEL: 0238-22-3450 FAX: 0238-24-7078

- (2) 参加料 学校対抗1チーム 23,000円
 個人対抗1人 2,500円

※大会参加料は11(4)の監督会議終了時まで納入してください。

- (3) 申込締切 令和元年6月10日(月)必着
- (4) その他 学校対抗における、同一校男女監督の兼任は認められない。

9 宿泊申込

- (1) 配宿については業者斡旋を行わないので、各校の責任において確保すること。

10 用具検査

- (1) 検査場所 競技会場内で行う。

- (2) 検査時間 6月21日(金) 13:00~17:00
6月22日(土) 23日(日) 24日(月) 8:30~競技終了まで

(3) 検査基準

- 1) 用具検査は、別紙「全国高校総合体育大会用具検査基準」を参照のうえ行う。
- 2) 検査対象は、剣、ボディークード、メタルジャケット、マスク、マスクケーブル
サーブル用カフ、サーブル用グローブとする。

11 諸会議等

- (1) 抽 選 会 令和元年6月11日(火) 13:30~
於 東京第一ホテル米沢 TEL0238-24-0411
〒992-0045 米沢市中央1-13-3
- (2) 技術委員会 令和元年6月21日(金) 14:00~
於 置賜総合文化センター 第一会議室 TEL0238-21-6111
〒992-0012 山形米沢市金池3-1-14
(置賜総合文化センターへは体育館の中から移動できます。)
- (3) 審 判 会 議 令和元年6月21日(金) 14:30~
於 置賜総合文化センター 第201会議室
- (4) 監 督 会 議 令和元年6月21日(金) 15:00~
於 置賜総合文化センター 第203会議室

12 その他

- (1) 競技中の疾病、傷害などの応急処置は各校で行うこと。
なお、参加者は必ず健康保険証(コピーは不可)を持参すること。
- (2) 試合中の用具の破損は、選手の責任とする。なお、予備の用具は必ず準備すること。
- (3) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された部活動指導員も可とする。但し、部活動指導員に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出ること。
- (4) 学校対抗で男子・女子選手が同一校から参加するときはそれぞれの選手を指導する監督を必要とする。
- (5) 監督が外部指導者である場合、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)加入証の写しを提出すること。
- (6) 外部指導者の監督については、複数校の監督を兼ねることは出来ない。
- (7) 選手変更については、エントリーした選手が、けがまたは病気により大会に出場できなくなった場合は、技術委員会の始まる48時間前までに、学校長の承認を得て、診断書を添え、技術委員会宛(提出先は8の(1)とする)に書面にて申請し、承認を得ること。
- (8) 競技に関する事項
 - 1) 上下衣、ストッキングは必ず白色とすること。特に、ストッキングは試合中に膝が出てこない長いもので、かつ厚いものを着用すること。
 - 2) 上衣の中には必ず半袖付きプロテクターを着用し(FIE公認のユニフォームでも着用のこと。)女子の選手は金属または固い材料で出来ている胸当てを両胸に着用し、その他の急所には十分な防備をすること。
 - 3) エペのユニフォームについては、そけい部を覆うオリンピック型を着用のこと。
 - 4) 選手は頭髮に注意し、試合に支障のないようにすること。特に頭髮がメタルジャケットの表面にかからないようにすること。

5) ゼッケンを右図のように作成し、各自の後ろ足の膝の外側に必ず付けること。姓と校名については男子は黒字、女子は赤字でピスト係が判読できるよう(太さ1cm以上)に記入し、同一校に同姓の者がいる場合は識別できるよう名を付ける。

6) ベンチの入場者は、当該種目監督及び登録選手(個人においては出場選手)とする。

7) 監督がベンチに入場する際には、長ズボンを着用すること。

7) 外履き・内履きの靴は、競技会場・練習会場とも必ず区別すること。サンダル等は許可しない。

8) 練習中はマスクなしでのファイティング・レッスンを禁止する。

